

本記入例はあくまでも一例です。推薦書を作成する上での参考としてください。

土木学会田中賞「作品部門」（技術）推薦書 記入要項

1. 「田中賞募集要項」ならびに、この記入要項をよく読んでから、推薦書の記入を行って下さい。
2. 推薦書は1/8～8/8の8頁からなっています。様式は変更しないで下さい。
3. 「新設」「改築」および「技術」の推薦書では、1/8、2/8が異なりますので注意して下さい。3/8～8/8は共通です。
4. 推薦書は、PDFファイルとし、HPの記載に従って電子的に提出して下さい。
5. 第1項の「対象作品の名称」は、商品名等ではなく、技術の内容を反映したわかりやすいものとして下さい。
6. 第2項の「対象作品の開発者」は、募集要項でいう受賞主体であり、賞に推薦することを受賞主体が了解の上応募して下さい。
7. 第3項の「連絡担当者」には、土木学会田中賞選考委員会との連絡を直接担当される方を記入して下さい。
8. 第4項の「適用実績」について、作品のこれまでの代表的な適用構造物名や適用構造物数を記入して下さい。
9. 第5項の「橋梁完成年月」は対象となる作品が適用された代表的な構造物の完成年月であり、「技術適用年月」は対象作品である技術が適用された年月です。第5項に記述する工期の途中であっても差しつかえありません。技術適用年月あるいは橋梁完成年月のいずれかが、対象期間内にある作品が対象となります。
10. 第5項の「＜参考記載＞関係した団体」は、募集要項でいう受賞主体ではありません。
11. 推薦する作品が橋梁そのものでなく、これに類するもの場合には、第5項の項目名を、必要に応じて変更のうえ、記入してもかまいません。
12. 鋼橋の場合、第5項の「構造形式・上部構造」には、床版構造についても記入して下さい。
13. 第5項の「工費」の内訳には、適用技術の費用がわかる工種ごとの単価など（〇〇橋脚補強工：〇〇円/橋脚など）、作品の特徴を表現できる単価を記入して下さい。
14. 第6項の「作品の特徴の要約」には、第7項の「作品の特徴」の要約（600字以内）を記入して下さい。
15. 第7項の「工事概要・作品の特徴（計画、設計、製作、施工など）・参考文献」は、3/8までを使用し、それぞれについて見やすく記入して下さい。参考文献が多い場合は代表的なものにとどめ、所定欄を超えないようにして下さい。なお、参考文献は提出期限の時点で既発表のものに限ります。
16. 推薦書4/8～5/8には、一般図および必要があれば部分の詳細図を記載して下さい。
17. 推薦書6/8～8/8には、土木学会より提供するWordファイルに鮮明な画像データを直接貼り付けてください。原則として、作品の全体が分かるような写真を最低1枚、部分や特徴を示す写真を数枚貼り付け、それぞれに簡単な説明をつけて下さい。
18. 推薦書以外の参考資料は一切添付しないで下さい。
19. 提出期限 令和3年1月20日（必着）
20. 提出先 田中賞推薦書提出HP URL：http://committees.jsce.or.jp/tanaka_sho/oubo
21. 連絡先・問合先 土木学会 田中賞選考委員会 TEL：03-3355-3442

令和 3 年 〇月 〇日

土木学会田中賞選考委員会 御中

推 薦 者

氏 名 土木 太郎 (会員番号 : 123456789)

所属先 〇〇高速道路(株)

住 所 〇〇県〇〇市〇〇

社名等を記載してください

令和2年度土木学会田中賞作品部門の選考対象として「 〇〇構造物の〇〇補強工法 」を
別添推薦書のとおり推薦します。

作品の名称を記載する。工事名ではありません。
第1項の「作品の名称」と同じとする。

以 上

書式は変更しないでください。また、対象外の欄には「-」を記入して下さい。

1/8

令和2年度土木学会田中賞作品部門推薦書 技術	
令和3年●月●日 提出	受付令和3年 月 日

1	(ふりがな) 対象作品の名称	○○こうぞうぶつの○○ほきょうこうほう ○○構造物の○○補強工法	作品(技術)の名称を記載する。 工事名ではありません。	
2	対象作品の開発者	○○高速道路(株)・(株) ○○コンサルタント・○○製作所(株)・○○建設(株)		
3	連絡担当者	(ふりがな) はし こういちろう 氏名 橋 好一郎	所属先 ○○建設(株)	
		所属先所在地 〒123-4567 ○○県○○市○○町○○	TEL 03-4567-8901	
		E-Mail address@machigaenaiyouni.co.jp		
4	適用実績	初適用：××橋(△△県・PC連続ラーメン橋・西暦○○○) 適用事例数：△△橋、○○橋など××例(うち海外○例)。	本欄で示す橋梁の完成年月を記入する。	
5	対象作品が適用された代表的な構造物に関する情報	(ふりがな) 名称	まるまるはし ○○橋 推薦する技術が初めて適用された年月を示す	橋梁完成年月 2019年4月 技術適用年月 2012年4月
		所在地	○○県○○～△△県△△	
		<参考記載> 関係した団体	企業者 ○○高速道路会社(株) 設計者 (株) ○○コンサルタント 施工者 ○○橋梁(株)	計画、基本設計と詳細設計等を分けず併記する(受賞主体ではありません。)
		橋種	道路橋・鉄道橋・歩道橋 ・その他()	
		設計活荷重	B活荷重	
		構造形式	上部構造 PC3径間連続ラーメン箱桁橋 下部構造 RC壁式橋脚(大口径深礎)	
		橋長・支間割	橋長 252.5m 支間割 75.0m+100.0m+75.0m	
		幅員構成	有効幅員(鉄道橋の場合総幅員を記載) 6.5m 内訳 0.5m(路肩)+2@2.75m(車線)+0.5m(路肩)	
		工期	西暦 2018年 5月 ~ 2020年 4月	
		工費	総工費：○○○百万円(○○円/m ²) 内訳(単位：百万円)：○○百万円(○○円/m ²)、○○百万円(○○円/基)	単位橋面積当たりの工費を記載する

適用技術の費用がわかるように記載すること。

令和2年度土木学会田中賞作品部門
推薦書

作品の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

写真

〇〇〇〇〇〇 (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

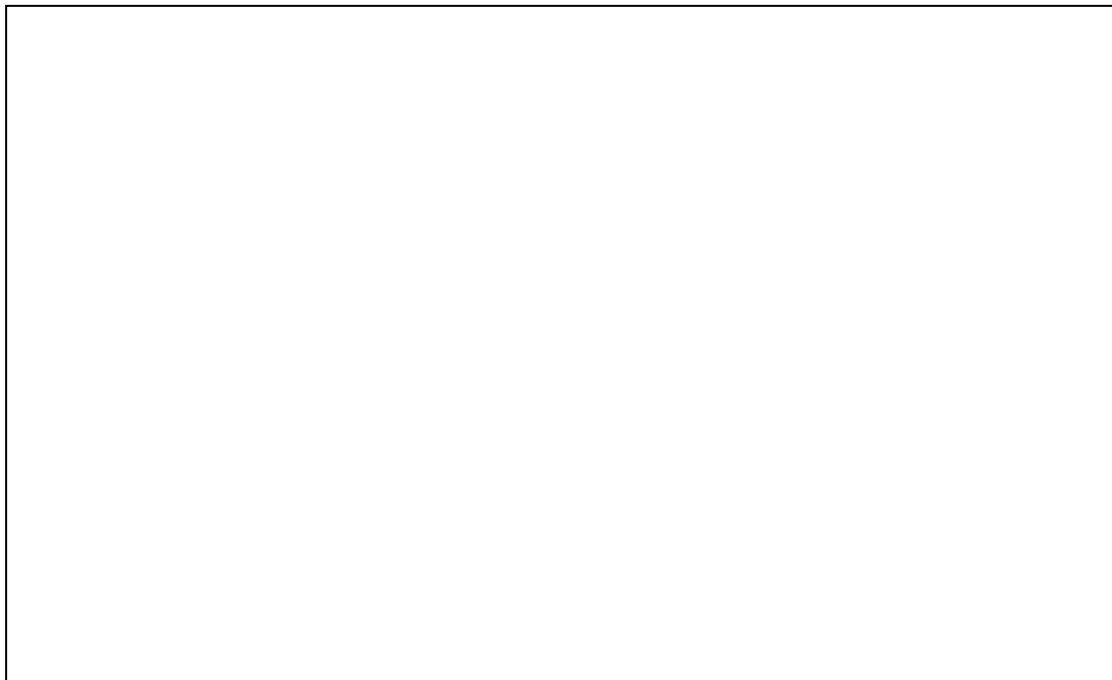


写真-1 〇〇橋周辺



写真-2 〇〇部施工時



写真-3 〇〇部施工後

令和2年度土木学会田中賞作品部門
推薦書

作品の名称

〇〇構造物の〇〇補強工法

写真

〇〇〇〇〇〇 (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

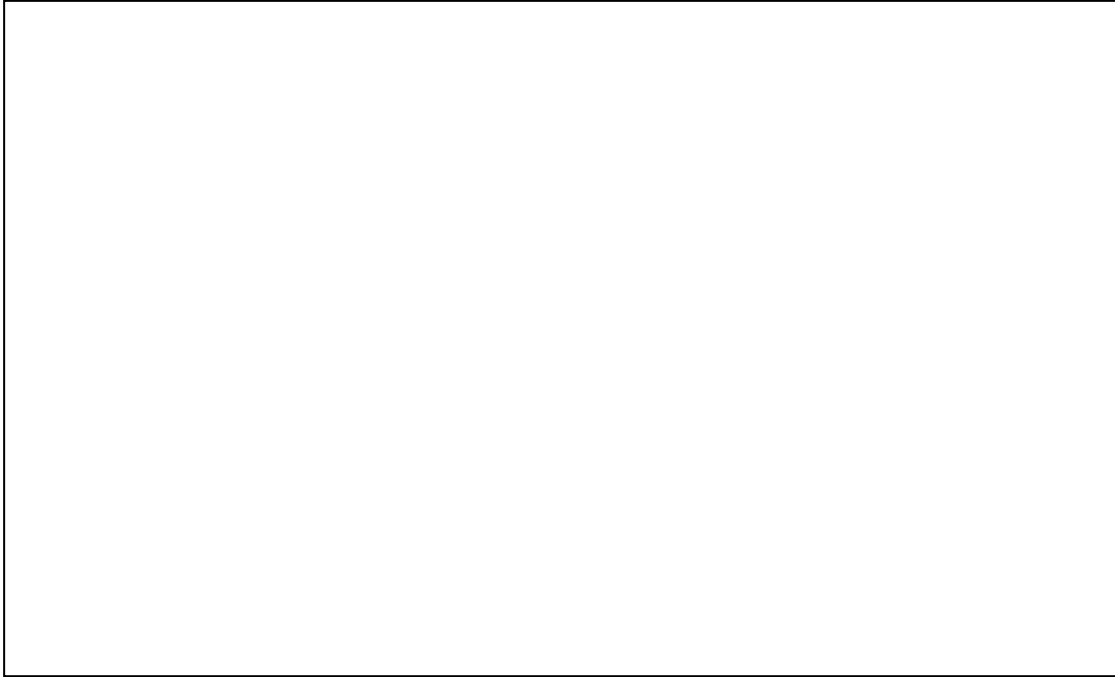


写真-4 〇〇橋周辺

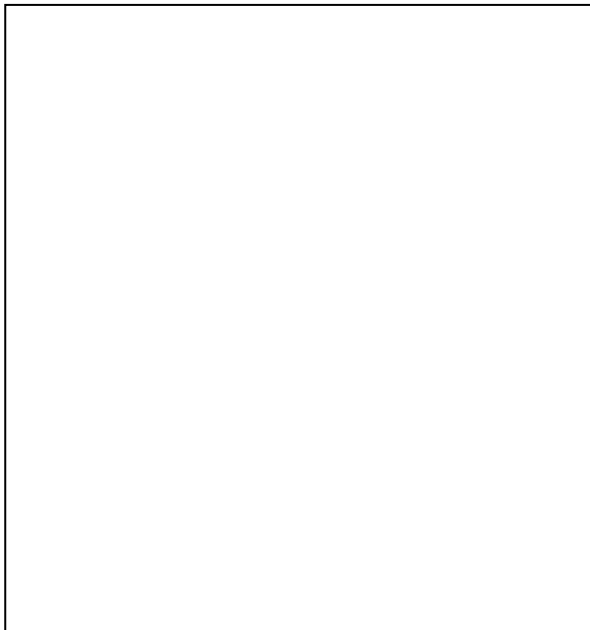


写真-5 〇〇部施工時

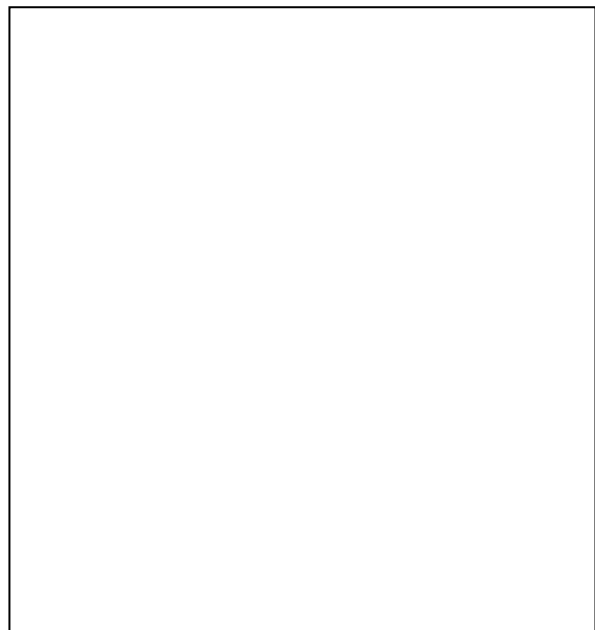


写真-6 〇〇部施工後

<p>令和2年度土木学会田中賞作品部門 推薦書</p>	<p>作品の名称 ○○構造物の○○補強工法</p>	
---------------------------------	-------------------------------	--

写真

○○○○○○ (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) ○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○ (レイアウトは自由にしてよい) ○○○○○○○○○○○

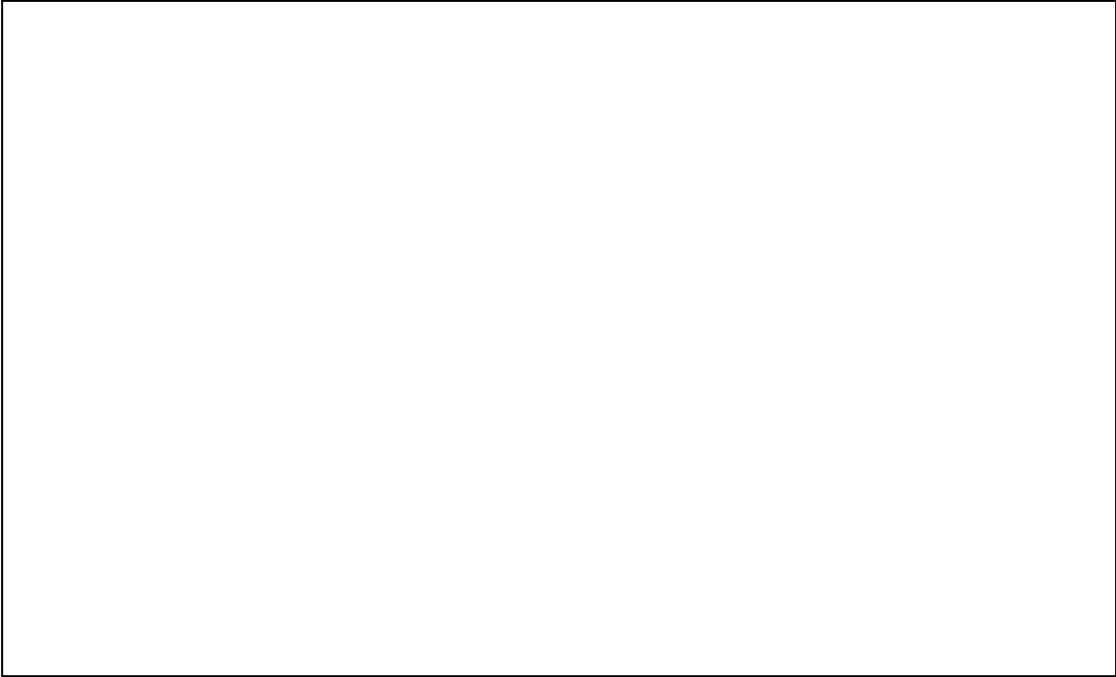


写真-4○○橋周辺

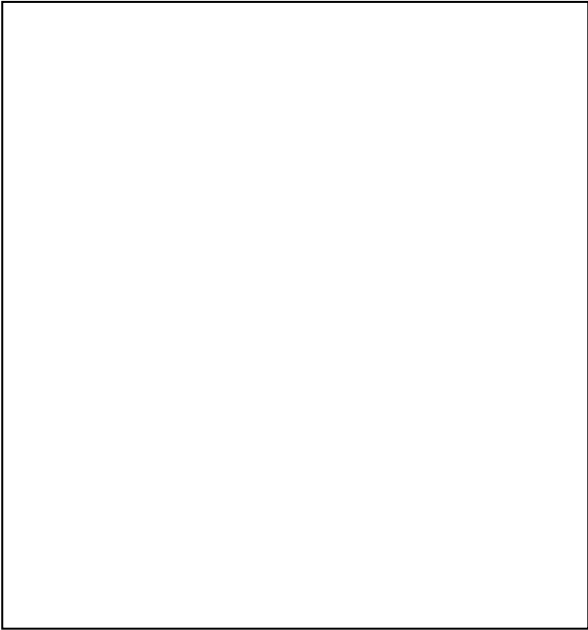


写真-5 ○○部施工時

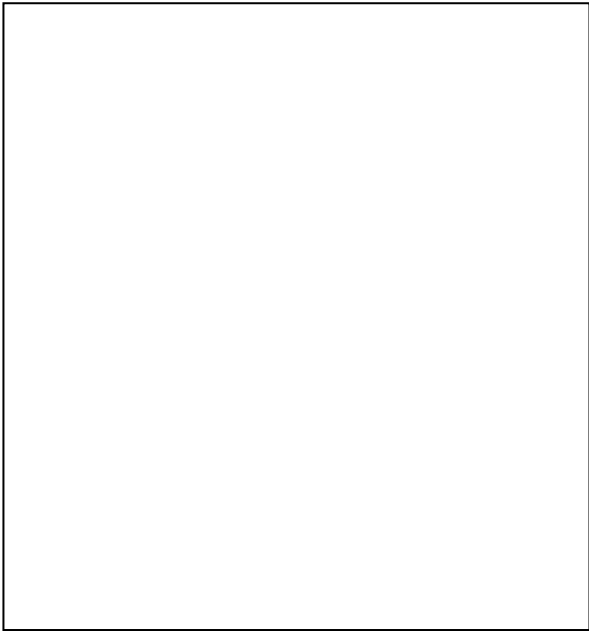


写真-6 ○○部施工後

対象作品の開発者 連絡担当者リスト

受賞のお知らせ等が速やかに行えるよう、対象作品の開発者の連絡担当者の情報を以下にご記入の上、候補推薦書とともにご提出下さい。

対象作品の開発者	会社名・所属： 連絡担当者氏名： (〒)
	Tel: _____ Email: _____
	会社名・所属： 連絡担当者氏名： (〒)
	Tel: _____ Email: _____
会社名・所属： 連絡担当者氏名： (〒)	
Tel: _____ Email: _____	
会社名・所属： 連絡担当者氏名： (〒)	
Tel: _____ Email: _____	

*記入枠は、必要に応じて増減してください。